東京国立博物館ニュース

第698号
展示と催し物案内

2-3 ⊙ 博物館に初もうで
4-5 ⊙ 文化庁海外展 大英博物館帰国記念 特別展
「国宝 土偶展」
6 ⊙ 没後400年 特別展 長谷川等伯
7 ⊙ 特別展 細川家の至宝
珠玉の永青文庫コレクション
8-11 ⊙ 平常展見どころ案内 2009年12月・2010年1月
重文 洛中洛外図屏風(舟木本)ほか
12-13 ⊙ みどりのライオン 教育普及事業
14 ⊙ INFORMATION 15 ⊙ TOPICS
16 ⊙ 2009年12月・2010年1月の展示・催し物

2009 12 1 2010

2010年
新春
1月2日から
開館

家族で楽しむにっぽんのお正月

博物館に初もうで

日本美術の名品はもちろん、和太鼓や獅子舞などの
お正月らしい芸能もお楽しみいただける東博のお正月。
今年もまた、みなさまとともに祝いましょう。
美しい日本の文化と伝統にふれて心豊かな新年のスタートをお迎えください。

虎図 円山応挙筆 江戸時代・18世紀
写生で知られる応挙が描いた虎です。日本にはいない虎を描くとなると、大きな目をした猫のようになるのでしょうか

新春特別展示 寅之巻

2010年1月2日(土)～1月31日(日)
本館特別2室

平成二十二年は干支でいうと庚寅にあたります。白虎は青龍、朱雀、玄武と並んで東西南北を象徴する四神の一つであり、古代より鏡や塼などにあらわされました。虎は勇猛なばかりでなく「大人は虎変す。君子は豹変す。小人は面を革む。」というように徳の高さをも象徴しました。このため画題や刀装具のデザインとして武士たちに好まれ、朝鮮王朝では武官のシンボルとされました。

一方、「虎の子」というように虎は子供を非常に大切にする動物として知られ、端午の節句には子供を守る悪魔よけとされます。勇気、力と徳、そして深い情愛をもつ虎を題材とした日本、中国、朝鮮の作品を集め、新年を祝います。

皆様にとって幸多き一年でありますように。

（今井敦）

白釉鉄絵虎形枕 磁州窯 金～元時代・12～13世紀 横河民輔氏寄贈
陶製の枕は実用品です。虎には魔除けとしての意味があったようです

ヒュンベ 朝鮮時代・19世紀
朝鮮時代に武官が服の胸と背に付けた階級証です。虎なのに縞がないのはなぜ？ 理由は会場でご説明いたします

新春イベントのご案内

恒例となりました新春イベント。さて、今年の出し物は。

まずは、おなじみ東都葛西囃子睦会によるお囃子で景気よく皆様をお迎えします。

さーあ、よってらっしゃい、みてらっしゃい！ 獅子舞と神楽のはじまり、はじまり。お獅子に噛まれれば、今年は無病息災。恵比寿様と大黒様には商売繁盛、五穀豊穣、景気回復を頼みましょう。続いては、フランス公演を果し、ますますパワーアップした和太鼓御響の迫力あるパフォーマンスをお楽しみください。そしてテレビにもご出演、海外でも活躍中の仙丸さんによる江戸の太神楽（曲芸）。伝統芸に酔いしれ、江戸時代にタイムスリップ！ 最後は、優雅で気品高いアマトゥールのクラリネット演奏。

今年も色とりどりのイベントが目白押し。さあ、皆さんで、博物館に初もうで。

＊雨天時は、場所を変更、または中止になることがあります。

2010年1月2日（土）

10:30「獅子舞　東都葛西囃子睦会」本館前
11:00「和太鼓演奏　和太鼓御響」正門内池前
12:00「江戸の太神楽　仙丸」正門内池前
13:00「獅子舞　東都葛西囃子睦会」本館前
13:30「和太鼓演奏　和太鼓御響」正門内池前
14:30「江戸の太神楽　仙丸」正門内池前

2010年1月3日（日）

10:30「獅子舞　東都葛西囃子睦会」本館前
11:00「和太鼓演奏　和太鼓御響」正門内池前
12:00「クラリネット・コンサート　アマトゥール」平成館ラウンジ
13:00「獅子舞　東都葛西囃子睦会」本館前
13:30「和太鼓演奏　和太鼓御響」正門内池前
14:30「クラリネット・コンサート　アマトゥール」平成館ラウンジ

TNM＆TOPPANミュージアムシアター

2010年1月2日（土）、3日（日）
各日先着60名様に、記念品をプレゼント。
本誌15ページでご紹介している新コンテンツ「洛中洛外図屏風 舟木本」をお楽しみください。上演日、上演時間等については本誌16ページでご確認ください。

VR作品「洛中洛外図屏風 舟木本」より

いけばな

2010年1月2日（土）～11日（月・祝）　正門・本館
池坊・蔵重伸氏（池坊短期大学教授）

寛永寺との連携事業　＊当館の観覧券の半券をご提示ください

2010年1月2日（土）、3日（日）　10:00～15:00
寛永寺根本中堂特別参拝
根本中堂、徳川歴代将軍の肖像画（油画）、天下三銘石之一「黒髪山」と縁起絵巻を公開します。また、四天王像（江戸時代・天和6年〈1620〉、台東区登録文化財）、十二神将像（江戸時代・元禄15年〈1702〉）も公開します。

新春東博寄席

2010年1月11日（月・祝）13:30～
出演：金原亭馬生ほか　料金2,000円　全席自由　申込方法：当館での窓口販売および電話予約販売
※当日、公演チケットで平常展をご覧いただけます。※申込方法の詳細は本誌14ページをご覧ください。
問い合わせ先　東京国立博物館イベント担当　TEL 03-3821-9270

ミュージアムショップからお年玉プレゼント

2010年1月2日（土）、3日（日）
ミュージアムショップで2,500円以上お買い上げの方に抽選でミュージアムグッズをプレゼント

2010年1月2日（土）～11日（月・祝）
美術書バーゲンセール

レストラン・ラコールからお年玉プレゼント

2010年1月2日（土）、3日（日）
お一人様1,500円以上ご利用の方に抽選でプレゼント
［A賞］
精養軒オリジナルお菓子 ガトー・セレクション
［B賞］
精養軒オリジナルワイン ハーフボトル（白）1本

ホテルオークラ・ガーデンテラスから甘酒振る舞いサービス

2010年1月2日（土）、3日（日）
レストランご利用のお客様に甘酒をサービス

みどりのライオン

家族で楽しむ　お正月のハンズオン アクティビティ

東博トラめぐり＆掛軸ふうカレンダー

本館20室　教育普及スペース
みどりのライオン ハンズオン体験コーナー

新年1月2日（土）・3日（日）の2日間、「東博トラめぐり＆掛軸ふうカレンダー」（両面）をお渡しします。
楽しいクイズやアクティビティを行います。ご家族で、ぜひご参加ください。　＊なくなり次第終了

◆展示室でトラを探そう！「東博トラめぐり」

2010年1月2日（土）・3日（日）　10:00～16:00
2010年は寅年。お正月の東京国立博物館で、トラが表された作品を探してみましょう！
新春特別展示「寅之巻」など、展示室にはトラがいっぱい。さて、どんなトラがいるかな？「東博トラめぐり」を見てトラに関する作品を探し、クイズに答えてください。
正解したお子さま（高校生以下）にはオリジナル賞品をプレゼント。

◆「掛軸ふうカレンダーを作ろう！」

2010年1月2日（土）・3日（日）　10:00～16:00
「東博トラめぐり」の裏側は2010年のカレンダーになっています。掛軸ふうデザインの美しい台紙に、新年の目標を書いたり、日本の伝統模様をスタンプで押したりして、自分だけのカレンダーを作りましょう。

虎香炉　香取秀真作　昭和時代・20世紀　香取たけ江氏寄贈

◉は国宝、◎は重要文化財、○は重要美術品を表します。とくに表記のないものは東京国立博物館蔵です。

［特別展］文化庁海外展
大英博物館帰国記念

国宝 土偶展

THE POWER OF DOGU

つくられた時期や地域によって顔もかたちも千差万別。
個性あふれる造形はまさに日本の宝です。
そんな、縄文のスーパースターがこの冬、上野に集結します。

2009 12 15（火） ▶ 2010 2 21（日）

高さ
40センチ！

国宝　中空土偶

内部が空洞となるつくりの土偶（中空土偶）としては、最大級の大きさを誇り、全身はきわめて緻密な文様で巧みに飾られています。土偶芸術の粋が凝縮されたこの作品は、北海道唯一の国宝です。

この土偶は、お墓と考えられる穴の中から発見されました。頭の一部と両腕を失っていますが、この部分は埋められる前にすでに破損していたことが発掘調査によって明らかにされています。災厄などを祓うために破壊されたのではないか、という説もあります。

◉**中空土偶**　縄文時代後期・前2000～前1000年　北海道函館市著保内野遺跡出土　函館市教育委員会蔵

多産と豊穣を
祈るかたち

国宝　縄文のビーナス

太い二本の足でしっかりと立ち、尻を後方に突き出す姿勢から「出尻土偶」とも呼ばれます。大型でしかも欠けた部分のない完全なかたちで発掘された土偶です。まるで王冠のようなかぶり物を思わせる文様が頭部にあり、その他の部分には文様がないという特徴をもっています。ふくよかな女性の身体を柔らかい曲線となめらかな器面で表現したその姿は、まさに多産や豊穣を祈る人形とされる土偶の美を代表するものといえるでしょう。

◉**縄文のビーナス**　縄文時代中期・前3000～前2000年　長野県茅野市棚畑遺跡出土　茅野市教育委員会蔵

これは
現代美術か？

重文　立像土偶

縄文人の造形意識、デザイン性の高さをこれほどまでに現代人にみせつける土偶はないのではないでしょうか。この土偶には顔面はあるものの、目・鼻・口はありません。それは土偶が単なる人形ではなく、精霊としての性格をも持つ存在であったことを示しているのかもしれません。

◎**立像土偶**　縄文時代中期・前3000～前2000年　山形県舟形町西ノ前遺跡出土　山形県教育委員会蔵

猫型土偶?!

上黒駒土偶

山猫を想像させる風貌をもった土偶です。多くの土偶には乳房があるのですが、この土偶にはありません。胸に当てられた左手は三本の指で表現されていますが、同様の表現は同時代の土器にもみられ、この時代の特徴的な表現といえるでしょう。

上黒駒土偶　縄文時代中期・前3000～前2000年　山梨県笛吹市上黒駒中丸遺跡出土

DATA

12月15日（火）～2010年2月21日（日）
本館特別5室

主催：文化庁、東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、毎日新聞社　**協賛**：日本写真印刷
観覧料金：一般800円（700円）、大学生600円（500円）、高校生400円（300円）
※（　）内は、前売／20名以上の団体料金。中学生以下無料。入館の際、年齢のわかるものをご提示ください
※障害者とその介護者1名は無料。入館の際に、障害者手帳などをご提示ください
お問い合わせ：ハローダイヤル　03-5777-8600

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館　教育普及室「ファミリー土偶」もしくは「土偶（中学生）」係　**FAX**：03-3822-3010　**電子メール**：edu@tnm.jp（❶「1月10日 ファミリー土偶」もしくは❷「2月13日 土偶（中学生）」とご記入ください）
締切：❶12月18日（金）必着　❷2010年1月29日（金）必着

ギャラリートーク

会場：本館20室（座席数70席、ただし立ち見も可）
12月17日（木）15：30～「国宝 土偶」
井上洋一（企画課長）
2010年1月21日（木）15：30～「土偶と土面」
品川欣也（工芸・考古室研究員）
2010年2月4日（木）15：30～「土偶の終焉とその後」
日高慎（保存修復室主任研究員）
＊このギャラリートークはどなた様もご自由に参加いただけますが、「国宝 土偶展」への入場には別途チケットが必要となります。

土偶のかたちのいろいろ

縄文土偶には時期や地域により、さまざまなかたちが見られます。

縄文時代のはじめ（およそ一万三千年前）に出現した土偶は、顔や手足の表現がない単純・小型のものでしたが、乳房があらわされているので女性像であることがわかります。それが縄文時代前期になると、単純ではありますが、頭の表現をもち、両腕を翼状に張り出した板状の土偶が出現し、定型化の道をたどります。中期には、東北地方で板状土偶が十字形土偶として発達する一方、関東・中部地方では装飾性に富む立体的な立像土偶が誕生するなど、地域性もみられるようになります。続く後期には、各地で実に多彩な土偶が生まれます。そして晩期には、抽象と具象を兼ね備えた土偶が東北地方を中心に展開され、芸術性に優れた中空の土偶も数多く誕生しました。

「国宝　土偶展」では、各地で発掘された多様な土偶が勢ぞろいします。今回はその中から、主な作品10件をご紹介します。

（井上洋一）

重文　板状土偶

完存品(すべての部分が残っているもの)としては最大級の十字形土偶です。叫び顔を思わせるような顔の表現が特徴的です。首の部分で二つに割れており、これらはおよそ90mも離れた地点から発見されています。このような例は他にもあり、土偶が作られた目的や使用方法を探るかぎといえるかもしれません。

◎**板状土偶**　縄文時代中期・前3000～前2000年　青森県青森市三内丸山遺跡出土　青森県文化課三内丸山遺跡対策室蔵

発生期の土偶

5cmにも満たない小さな土偶。顔や手足の表現はありませんが、豊満な乳房、くびれた胴部の表現から女性像であることがわかります。現在最古の土偶は、縄文時代草創期の三重県粥見井尻遺跡から発見されたものですが、その形も上半身のみで乳房をともなった逆三角形をしています。したがって、縄文土偶ははじめから女性像をイメージして作られたものといえるでしょう。

発生期の土偶　縄文時代早期・前7000～前4000年　茨城県取手市花輪台遺跡出土　南山大学人類学博物館蔵

国宝　合掌土偶

座り込み胸の前で合掌するその姿は、まるで神に祈りを捧げているかのようです。お産の様子をあらわしているという説もあります。独特の顔の表現から仮面を付けた土偶とみる人もいます。折れた部分には天然アスファルトで接着・補修した痕(あと)があり、この土偶が当時いかに大切にされていたかがわかります。また表面にはわずかに赤色塗料が残っています。おそらく当初は全身が赤く塗られていたのでしょう。

◉**合掌土偶**　縄文時代後期・前2000～前1000年　青森県八戸市風張1遺跡出土　八戸市蔵

重文　遮光器(しゃこうき)土偶

この土偶ほど多くの人々に人気のある土偶はないのではないでしょうか。大きな目が雪原の照り返しから目を守るイヌイットの遮光器に似ていることからこの名がつけられました。きわめて精巧なつくりの中空土偶であり、国宝級の風格を備えた土偶といえます。

◎**遮光器土偶**　縄文時代晩期・前1000～前400年　青森県つがる市亀ヶ岡遺跡出土

重文　仮面土偶

三角形の顔は仮面を付けた表現とされます。つくりは中空で、表面はきれいに磨かれ、どっしりとした両足に支えられた胴部には繊細かつデザイン性に優れた文様が施されています。この土偶は、お墓と考えられる穴から発見されたもので、副葬品であったと考えられています。

◎**仮面土偶**　縄文時代後期・前2000～前1000年　長野県茅野市中ッ原遺跡出土　茅野市教育委員会蔵

重文　ハート形土偶

顔面のかたちから「ハート形土偶」の愛称で呼ばれ、郵便切手の図案にも採用されました。具象と抽象を兼ね備えた土偶として古くから注目されてきました。簡単な石組遺構の内部に埋納された状態で発見されたと伝えられ、他の大型土偶とは違った性格をもつ土偶であったとも考えられています。

◎**ハート形土偶**　縄文時代後期・前2000～前1000年　群馬県東町郷原遺跡出土　個人蔵

関連事業

記念講演会

2010年2月6日(土)13:30～15:00
文化庁主任文化財調査官 原田昌幸氏
「縄文土偶の“発生”と“成長”、そして“かたち”の面白さ」

会場:平成館大講堂
定員:380名(事前申込制)
聴講無料(ただし「国宝 土偶展」の観覧券が必要、半券でも可)
申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申込ください
申込先:〒110-8712　東京都台東区上野公園13-9　東京国立博物館　教育講座室「土偶展講演会」係
※1枚のはがきで、2名まで申込可。2名の場合はそれぞれの氏名をお書きください
締切:2010年1月15日(金)必着

ワークショップ

縄文人の精神世界や信仰を現す土偶の、個性豊かなそのかたちに注目し、そこにこめられた祈りや謎を探ってみましょう。あなたも、考古学の世界に一歩近づいてみませんか。

❶ファミリーワークショップ

「どぐうスケッチ」
ほんものの土偶を見たことはありますか？　教科書の写真だけではわからない、土偶のうしろ姿や大きさ、色、模様、質感をじっくり見て、スケッチしてみましょう。考古学者と一緒に土偶のひみつに迫ります。
2010年1月10日(日)16:30～18:30
会場:東京国立博物館　本館特別5室と本館20室
対象:小学生とそのご家族
定員:各回10組(応募者多数の場合は抽選)

❷中学生のためのワークショップ

「めざせ！ 考古学者」
考古学者と一緒に土偶を調査しませんか？　考古学の調査方法をわかりやすく解説するほか、専門の道具を使って土偶の実測の体験ができます。これで君も考古学者への道が開けるかも!?　※実測体験では複製品を使用します。
2010年2月13日(土)16:30～18:30
会場:本館特別5室と本館20室
対象:中学生　**定員**:30名(応募者多数の場合は抽選。一度の申込で2名までお申込いただけます)

参加費:無料(ただし当日の入館料が必要です。高校生以下および満18歳未満と満70歳以上の方は入館無料)
申込方法:往復はがき・FAX・電子メールのいずれかで①参加者全員の氏名・ふりがな ②学校名・学年 ③郵便番号・住所 ④電話番号・FAX番号 を記入の上、下記申込先へお送りください。

没後四〇〇年［特別展］
長谷川等伯

能登七尾から上洛した等伯は、京都画壇での地位を確固とするために、一世一代の賭けに出ました。それは大徳寺の塔頭（歴代住職の隠居所となる小院）である三玄院の襖に山水図（現在は圓徳院蔵）を描いたときのエピソードとして知られています。

この絵はたいへん珍しいことですが、桐形の紋が摺られた唐紙の上に描かれています。等伯は三玄院の春屋宗園住職に寺の襖絵を描きたいと何度も願い出ていたのですが、禅寺に襖絵は不要と許されませんでした。ある日、住職が留守と知った等伯は部屋に駆け上がり、一気呵成に描ききってしまったと伝わっています。

この三玄院の襖絵は評判となり、この実績もあって等伯は南禅寺や妙心寺など京都の大寺院に障壁画を描く機会を獲得することにつながっていきます。

静かな山水風景を水墨でみごとにあらわしたこの絵には、等伯のなみなみならぬ決意と気迫が込められているのです。（松嶋雅人）

上：◎**山水図襖**　長谷川等伯筆　天正17年（1589）京都市・圓徳院蔵
左：◎**山水図襖**（部分）
唐紙の上に描く等伯の尋常ではない技量

◎**春屋宗園像**（部分）　長谷川等伯筆　文禄3年（1594）京都市・三玄院蔵
迫真の描写から住職の厳しさが伝わるとともに、等伯との親交もうかがい知ることができる肖像

桃山の巨匠・長谷川等伯の画業を網羅する史上最大の回顧展。
80件あまりの作品を通して、絵師の生き様を探ります。
たとえば、この襖絵。絵師として成功するために強引な賭けに出た
天才・等伯の意外な一面が浮かび上がります。

関連事業

記念講演会

①2010年2月27日（土）
「やまと絵師・長谷川等伯―信春時代の仏画から智積院障壁画へ」
東京国立博物館特別展室長　松嶋雅人

「信春から等伯へ―新発見の金碧花鳥図屏風を中心に」
京都国立博物館美術室長　山本英男氏

②2010年3月6日（土）
「長谷川等伯の新たな魅力―動物の感性を描く」
出光美術館学芸部長　黒田泰三氏

時間：①13時30分から16時まで　②13時30分から15時まで
場所：平成館大講堂
事前申込制（定員380名）
聴講無料（ただし「没後四〇〇年　特別展　長谷川等伯」の観覧券が必要、半券でも可）
申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号・聴講を希望する講演会番号（①もしくは②）と日付を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、左記までお申込ください。
※1枚のはがきで、1つの講演会につき2名まで申込可。2名の場合はそれぞれの氏名をお書きください。
申込先：〒106-8611　東京都港区西麻布2-25-18 麻布パレスビル（ユース・プラニング センター内）「長谷川等伯」広報事務局講演会
（①2月27日 ②3月6日）係
申込締切：①2月9日（火）必着　②2月16日（火）必着
お問い合わせ：「没後四〇〇年　特別展　長谷川等伯」広報事務局
電話03-5467-8638

没後400年 特別展「長谷川等伯」
2010年2月23日（火）～3月22日（月・休）　平成館

主催：東京国立博物館、毎日新聞社、NHK、NHKプロモーション　**後援**：文化庁　**特別協賛**：大塚家具
協賛：JR東海、大成建設、日本写真印刷、みずほ銀行
観覧料金：一般1,500円（1,300円／1,200円）、大学生1,200円（1,000円／900円）、高校生900円（700円／600円）
※（　）内は、前売／20名以上の団体料金。中学生以下無料。入館の際、年齢のわかるものをご提示ください
※障害者とその介護者1名は無料。入館の際に、障害者手帳などをご提示ください
お得なペア券2枚セットで2,000円（12月23日まで期間限定発売中）
お問い合わせ：ハローダイヤル　03-5777-8600　**巡回展**：京都国立博物館　2010年4月10日（土）～5月9日（日）

※東京国立博物館ニュース第697号（2009年10・11月号）5ページ、没後400年 特別展「長谷川等伯」の観覧料金の記載に誤りがございました。お詫び申し上げます。

特別展予告

特別展「細川家の至宝　珠玉の永青文庫コレクション」
2010年４月20日(火)～6月6日(日)　平成館

主催:東京国立博物館、財団法人永青文庫、NHK、NHK プロモーション、朝日新聞社　**協賛**:日本写真印刷
観覧料金:一般1,500円(1,300円／1,200円)、大学生1,200円(1,000円／900円)、高校生900円(700円／600円)
※(　)内は、前売／20名以上の団体料金。中学生以下無料。入館の際、年齢のわかるものをご提示ください
※障害者とその介護者1名は無料。入館の際に、障害者手帳などをご提示ください
お問い合わせ：ハローダイヤル　03-5777-8600
巡回展:京都国立博物館　2011年10月8日(土)～11月23日(水・祝)、九州国立博物館　2012年1月1日(日・祝)～3月4日(日)

［特別展］細川家の至宝
珠玉の永青文庫コレクション

唐物茶入 利休尻ふくら
中国　南宋～元時代・13～14世紀
永青文庫蔵
千利休が所持し、豊臣秀吉が主催した北野大茶湯でも用いられました。細川忠興(三斎)が関ヶ原の戦いの軍功により将軍徳川秀忠より拝領したと伝えられる細川家第一の茶道具です

永青文庫(えいせいぶんこ)の収蔵品を中心に、細川家ゆかりの作品を紹介する展覧会を開催いたします。永青文庫は旧熊本藩主である細川家に伝来した文化財の散逸を防ぐ目的で、第十六代細川護立(もりたつ)によって昭和二十五年(一九五〇)に設立されました。平成二十二年(二〇一〇)は永青文庫創立六十年、細川護立没後四十年、そして近世細川家の祖細川藤孝(ふじたか)(幽斎(ゆうさい))没後四百年の節目の年にあたります。

展覧会は大きく二つのテーマで構成されます。第一部では歴史の荒波の中を生き抜き、古今伝授、能、茶の湯などの文化を守り伝えた細川家に伝来する貴重な美術品や歴史資料を展示し、細川家の歴史とともに日本の伝統文化を紹介いたします。第二部は細川護立が蒐集した美術品の中から選りすぐりの名品を展示し、近代日本を代表する美術コレクターであるとともに横山大観、菱田春草、小林古径といった画家たちの活動を支えた細川護立の眼と人物像に迫ります。どうぞご期待ください。

(今井 敦)

◎**黒き猫**　菱田春草筆　明治43年(1910)　永青文庫蔵
岡倉天心の門下にあって日本画の革新に尽した夭折の画家、菱田春草の代表作です。文展出品のためわずか1週間で描きあげ、翌年36歳で没しました

黒糸威横矧二枚胴具足(くろいとおどしよこはぎにまいどうぐそく)　細川忠興(三斎)所用　安土桃山時代・16世紀　永青文庫蔵
細川忠興(三斎)が関ヶ原の戦いで着用した具足で、細川家では「御吉例の具足」と呼ばれ大切にされていました。兜の上の長く伸びた山鳥の立物が印象的です

これだけは見逃せない！おすすめのこの1点

ミヤコにあふれる享楽の空気、描かれた視線のドラマ

重要文化財 洛中洛外図屏風（舟木本）

2010年1月13日（水）～2月21日（日） 本館7室

遊女たちが男を誘う、三筋町遊郭の往来

僧が稚児の手を引いています。聖の裏に隠された俗と欲

◎**洛中洛外図屏風（舟木本）** 江戸時代・17世紀　大画面に京都の町の様子が細かく描かれています

洛中洛外図という京都の中心部とその郊外を描いた絵画があります。京都が特別な意味をもった時代、戦国武将たちが上洛を目指した時代に誕生した都市図で、織田信長が上杉謙信に贈ったとされる屏風（上杉本）もあります。御所を中心に描かれた都の賑わいが、正月から、季節の順を追った一年の行事を通して描かれており、屏風の下半に京都の中心部洛中の名所が、上に洛外と呼ばれる郊外の名所が配されるのが通例です。屏風を向かい合わせに並べて、その間から見ると、山と丘に囲まれた京都の街中にいる気分になります。洛中洛外図は、まさに花の都の繁栄を映し出し、幕府の置かれた江戸の発展が時代の鏡となるまで盛んに描かれました。

数多い洛中洛外図の中に飛びぬけて個性的な左右一対の屏風があります。もと滋賀県の舟木家に所蔵されていたことから、舟木本と呼ばれる作品です。鴨川を中心に洛中をクローズアップし、祇園・清水・方広寺大仏殿の周辺を右側に描き加えるだけの、視野を狭めた構成をとっています。中心に配されているのは、河原の小屋で演じられる歌舞伎や浄瑠璃の興行、そして女が男の手を引く遊女屋の並ぶ通りの様子。

男の胸を引いて店に引っ張り込もうとする女。傍らで抱き合っている男女。店の内外でこれからの交渉？に余念の無い客。別の場所では、聖職者である僧が華やかに着飾った若い僧喝食（稚児）の手を握り、その脇を前傾して走り急ぐ武士達の顔には殺気があらわれています。豊臣家が滅亡する大坂の陣直前の「かぶきの時代」の空気があふれています。

永遠の循環で繰り返す平穏な生活と神聖な神社仏閣を通して描かれた洛中洛外図とは反対の、今を享楽的に楽しむ人々の熱気を帯びた歓楽の様子を通して、表の都、建て前のミヤコとは違う、裏の本音、都市にあふれる人としての性が、シニカルな眼差しで描かれています。

（田沢裕賀）

注目の特集

本館特別1室　中国書画

正月を松竹梅と吉祥で寿ぐ

特集陳列

「中国書画 歳寒三友と明末清初の書」

2010年1月2日(土)～1月31日(日)

厳寒の季節にも力強い緑を保つ松・竹・梅は、古くから文人の理想とする姿を象徴する画題でした。常緑の松を飾って新年を迎える風習は、日中ともに同じですが、中国では秦の始皇帝の頃から、松を崇めていました。始皇帝が泰山に登ったおりに、雨宿りをした五本の松に五大夫の位を贈った故事から、五大夫は松の異名となっています。図は、清時代の前期、揚州で特異な画を描いた画家の一人、李鱓（一六八六～一七六二頃）の五松図。李鱓は博学で詩書画に長じ、画の余白を利用して、自由自在に詩文を書き込みました。この作も詩文から、五本の松に変化を持たせることに心を砕いたことが分ります。

新年を迎えるにあたり、松竹梅の歳寒三友をはじめ、桃・牡丹・水仙などの吉祥を画題とした作品の数々をお楽しみください。

（富田 淳）

五松図　李鱓筆　清時代・18世紀
樹齢の長い松は、不老長寿・永世不変を象徴し、また試練に耐え抜く君子をも意味しました

本館14室　西アジア考古

吹き技法から生まれた美

特集陳列

「古代ガラスの発達 ―『吹きガラス』への道―」

12月22日(火)～2010年2月14日(日)

当館では、三百五十件余りの作品からなる古代ガラス・コレクションの寄託を受け、整理を続けています。過去二回、その一部をお目にかけましたが、三度目の今回は「吹きガラス」に焦点をあてます。

紀元前一世紀頃の地中海東部地方で、「吹きガラス」の技法が始まりました。融けたガラスに息を吹き込んで、容器を効率よく作る新技術によって、廉価なガラス器が古代世界に広く普及しましたが、同時に、庶民の手が届かない少数の高級品も新たに生まれました。

この特集陳列では、コア技法、鋳造技法、熱垂下技法などを使って作られた古い時代のガラス器類から、「吹き技法」が普及した後の作品六十五件をご覧いただきます。私たちが毎日のように手にするガラス器の多くは吹きガラス、二千年前の技術は今も健在です。

（後藤 健）

水差　地中海東部地方　3～4世紀　個人蔵
息を吹き込んで膨らませ、それに他の部品を貼り付けるなど、アメ状に融けたガラスを自由自在に操っています

本館16室　歴史資料

博物館創立期の貴重な資料シリーズ「歴史を伝える」

特集陳列

「博物館の創始者・蜷川式胤の収集資料」

12月8日(火)～2010年1月17日(日)

蜷川式胤（一八三五～一八八二）は京都・東寺の公人の家に生まれ、明治二年（一八六九）に明治政府に出仕、明治五年からは文部省博物局に勤め、東京国立博物館の創立に関わりました。明治四年には、翌年焼失した江戸城を写真撮影し（重文「旧江戸城写真帖」）、明治五年の文部省・湯島聖堂博覧会を開催した後、町田久成らと社寺宝物調査に向かい、正倉院宝物ほか多くの古美術品の模写や拓本を採取しました（重文「壬申検査社寺宝物図集」、重文「壬申検査関係写真」）。これらの資料は、文化財保護活動の先駆けとしてこれまでも評価されてきましたが、今回はさらに、蜷川が幕末から進めていた古美術調査に関する資料も紹介します。博物館創立に向けて蜷川が収集した資料の数々をご覧ください。

（恵美千鶴子）

蜷川式胤　『蜷川式胤　追慕録』（蜷川第一編、昭和8年発行）より

本館9室　能と歌舞伎

美しい女から鬼へ

特集陳列

「能『紅葉狩』の面と装束」

11月10日（火）～2010年1月11日（月・祝）

ただし、11月30日～12月13日までは閉室

唐織　緑紅茶段青海波花製斗扇夕顔模様　江戸時代・18世紀
王朝風の模様は、高貴な女性を演じるのにこそふさわしい

今回は、晩秋の季節にちなんだ「紅葉狩」に合わせた面・装束の展示です。信濃の戸隠山で鹿狩をしていた平維茂とその従者たちが、紅葉狩を楽しんでいる美しい女性たちの酒宴に加わる場面から舞台は始まります。杯を手に、ただ上臈とばかり名乗る高貴な女性の美しい舞を眺めているうちに、維茂とその一行は眠りに落ちてしまいました。舞台の見所は、急変する上臈の姿。前場では高貴な美しさを持つ「増女」面をつけ豪華絢爛な唐織を着た上臈が、後場では、目を釣り上げ、口の裂けた「顰」面に赤い髪を振り乱して登場します。紅葉狩を催した美しい上臈は、実は、人を食らう鬼女だったのです。この季節にかかることの多い演目です。展示をご覧になってから舞台をご覧になると、一味違った楽しみが生まれるかもしれません。

（小山弓弦葉）

本館18室　近代絵画

懐かしい日本がここにある

特集陳列

「高野コレクション―浅井忠の日本風景」

2010年1月13日（水）～2月21日（日）

実業家高野時次氏の蒐集による、明治の洋画家浅井忠の作品全七十三点が、昭和六十年（一九八五）に当館に一括寄贈されました。

今回の特集陳列では、それらの中から浅井が暮らした京都の風景など、日本各地の風景を水彩で描いた作品六点を紹介します。

フランス留学から帰国した浅井は、京都高等工芸学校（現京都工芸繊維大学）教授となり、自らも聖護院洋画研究所（後の関西美術院）を開いて、後進の指導にあたります。

浅井の描いた透明感あふれる日本の情景は光に満ちています。百年ほど前に描かれたこれらの風景は、現在ではもう目にすることはできないかもしれません。私たちの記憶に残る悲しくなるくらい懐かしい日本の風景を、これらの浅井作品は伝えてくれます。

（松嶋雅人）

聖護院の庭　浅井忠筆　明治37年（1904）　高野時次氏寄贈　美しく光り、透明感あふれる自然。みるだけで幸せを感じる光景です

茨城県立歴史館との考古資料相互活用促進事業

平成館企画展示室
特集陳列「古代・中世の茨城―経塚・板碑・和鏡―」
12月8日（火）～2010年3月7日（日）

平成館考古展示室
特集陳列「茨城の弥生再葬墓」
12月1日（火）～2010年3月14日（日）

東京国立博物館では毎年、地方の博物館と、考古資料相互活用促進事業を行っています。今回は茨城県立歴史館から借用した資料で行う展示をご紹介します。

「古代・中世の茨城」では、茨城県立歴史館所蔵の門毛経塚出土品を中心に、古代から中世にかけての茨城県出土の経塚遺物と、中世の板碑、和鏡をとりあげ、当館の所蔵する茨城県頼政廟ほか出土の板碑などを展示して、茨城の歴史の一端を垣間見ることにします。

「茨城の弥生再葬墓」では、人面付壺を出土したことでよく知られる小野天神前遺跡の出土品（茨城県立歴史館所蔵）を中心に、同じく人面付壺を出土した女方遺跡出土の当館所蔵品を加え、弥生時代の東日本に特徴的にみられる再葬墓（遺体をいったん白骨化させ再び壺に入れ埋葬すること）の出土品を特集して展示します。

（望月幹夫）

上：**自然釉大甕**　茨城県桜川市門毛経塚出土　平安時代・12世紀　茨城県立歴史館蔵　「古代・中世の茨城―経塚・板碑・和鏡―」で展示

右：**人面付壺形土器**　茨城県常陸大宮市小野天神前遺跡出土　弥生時代・前2～前1世紀　茨城県立歴史館蔵　ユニークな顔のついた壺　「茨城の弥生再葬墓」で展示

気になるこの部屋・この作品

法隆寺宝物館 第5室 金工

獅子の飾りの法具

重文 獅子鎮柄香炉

通年展示

柄香炉は、僧侶や供養者が法会の際に仏前で手に執って香を献ずるための仏具です。この獅子鎮柄香炉は、L字形に曲げた柄の末端に獅子形の鎮子（手に執った時にバランスを保つための重り）を据えることからその名があります。香炉の部分は火炉と下方の台軸及び菊座で構成され、柄頭には心葉形金具をつけています。各部とも鋳銅製で鋲止めしています。獅子鎮柄香炉は中国では唐時代に、日本では奈良時代に、抹香を入れた塔鋺（相輪形の鈕をもつ脚付鋺）とセットで用いられたと考えられています。

（加島勝）

◎**獅子鎮柄香炉** 奈良時代・8世紀
火炉から直線的に伸びる柄のシャープな形に
ユーモラスな表情の獅子形鎮子がよくマッチしています

本館11室 彫刻

秋篠の里に思いをはせて

重文 十一面観音菩薩立像

10月14日(水)～2010年1月17日(日)

◎**十一面観音菩薩立像**
平安時代・9世紀 奈良・秋篠寺蔵
帯状の布が交叉する美しい背面にも注目

秋篠寺は、奈良市の北西にある寺で、八世紀後半に創建されました。佐保佐紀路と呼ばれるしっとりと落ちついた一帯にあり、特に奈良時代に造られた伎芸天像を目指して訪れる人が少なくありません。平城京から平安京に都を遷した桓武天皇と縁が深く、この十一面観音像も桓武天皇との関係で造られた可能性があります。右に腰をひねって左膝を軽く曲げて立っています。胸や腹のやわらかな肉付き、衣のしなやかな質感がみごとです。鼻と口そして顎の間の寸が詰まった顔立ちはこの時期によくみられます。

（浅見龍介）

本館3室 宮廷の美術

年中行事を細密に描く

重文 月次風俗図屏風

12月15日(火)～2010年1月24日(日)

月次風俗図は、月ごとの季節感あふれる行事と人々の様子を絵画化したもので、伝統的なやまと絵の画題のひとつです。山口県岩国市の吉川家に伝来したこの屏風は室町時代末期に描かれ、当初はより多くの年中行事を含む左右一対の形であったとも考えられています。

雪遊びにお祭り、スポーツにショッピング。諸階層の老若男女がいきいきと人生を楽しむ様子は、現代を生きる私たちにも通じています。細密に描きこまれた画面をじっくりとのぞきこんで、移り変わる四季のなかに遊ぶ中世人たちに感情移入してみるのも一興です。

（瀬谷愛）

◎**月次風俗図屏風**（部分） 室町時代・16世紀
髭面の男性も羽根つきに夢中

本館13室 刀剣

酒呑童子を斬った刀

国宝 太刀 名物 童子切安綱

12月8日(火)～2010年3月14日(日)

古墳時代には反りのないまっすぐな直刀が使われましたが、日本刀とよばれる反りのついた太刀が作られるようになったのは、十一世紀初めのころと考えられています。その日本刀の作者としてもっとも古い刀工が、京の三条宗近と、この太刀の作者、伯耆（鳥取）の安綱です。安綱の作風は長さが長めであり、しかも反りが高く、鍛えは大板目で、刃文は技巧がほとんど見られない素朴で小模様な乱れ刃となっています。この太刀は徳川吉宗が名刀を収録した『享保名物帳』に、「童子切」として記載されているもので、源頼光が大江山に住む酒呑童子という怪物を征伐したときに用いたとの言い伝えがあります。室町将軍家、豊臣秀吉、徳川家康、秀忠、越前松平家、津山松平家へと伝来しました。安綱の代表作というだけでなく、すべての日本刀の最高傑作として著名です。

（原田一敏）

◉**太刀（名物 童子切安綱）** 伯耆安綱
平安時代・10～11世紀
秀吉も家康も手にしたという名刀

本館2室 国宝室

明快にして堅固な構図

国宝 秋冬山水図

2010年1月13日(水)～2月7日(日)

雪舟（一四二〇～一五〇六?）は室町時代の禅僧画家です。京都の相国寺で修行したのち、山口に移住し、四十八歳のとき中国への外交使節に随行し、北京では宮廷画家の李在にも学びました。人物・山水・花鳥の各ジャンルにわたり、水墨・着色双方の技法で作品を描きました。彼の山水画の特徴は、スケールが大きく、構築的で、筆法が力強いところにあります。彼の作品としてはかなり小ぶりなこの秋冬山水図にも、その特徴がよくあらわれています。

（救仁郷秀明）

◉**秋冬山水図のうち秋景** 雪舟等楊筆
室町時代・15世紀末～16世紀初　左下隅からジグザグに視線が誘導され、語り合う二人の人物を経て、楼閣に行き着きます

日時：❶12月19日(土) 10:00〜12:30
❷12月20日(日) 10:00〜12:30
会場：平成館小講堂
対象：小学校5年生以上の児童・生徒とそのご家族
定員：10組(応募者多数の場合抽選)
参加費：無料(ただし当日の入館料が必要です。高校生以下および満18歳未満と満70歳以上の方は入館無料)
申込方法：往復はがき・FAX・電子メールのいずれかで ①参加者全員の氏名(ふりがな) ②郵便番号・住所 ③電話番号(FAX番号) ④参加希望日を記入の上、下記申込先へお送りください。

写真は昨年度のカレンダーです

申込先：〒110-8712　東京都台東区上野公園13-9　東京国立博物館
教育普及室「カレンダー」係
FAX：03-3822-3010
電子メール：edu@tnm.jp
(件名に「○月○日(希望日)カレンダー」とご記入ください)
締切：❶❷ともに、12月4日(金)必着

教育普及事業!!

みどりのライオン
みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER　教学中心　교육센터

制作工程模型展示

国宝・孔雀明王像(くじゃくみょうおうぞう)ができるまで

2010年1月13日(水)〜4月18日(日)　本館20室　みどりのライオン

古来仏画を描く際にはさまざまな装飾技法が使われていました。今回の展示では、細かく切った金箔などを画面に貼って文様をあらわす「截金(きりかね)」という技法に着目し、当館で所蔵する「国宝・孔雀明王像」の制作工程を5段階に分けた模型でご覧いただきます。材料や道具などもあわせて展示し、「截金」という技法をつかった平安仏画制作のしくみをご紹介します。この制作工程模型は東京芸術大学学生ボランティアの協力により制作されました。2月には学生ボランティアによるギャラリートークも予定されています。どうぞ、お楽しみに。

◉孔雀明王像　平安時代・12世紀

PART 1 知る楽しみ、学ぶ喜び
講座・講演会・解説

講演会

「お姫様のお嫁入り —華やかな大名婚礼調度—」

本館8室に展示されている婚礼調度品に関連した講演会です。
日時：12月19日(土) 13:30〜15:00
会場：平成館大講堂
定員：380名(先着順)　聴講無料(ただし、当日の入館料は必要)
講師：小松大秀(副館長)

「洛中洛外図屏風の系譜」

洛中洛外図屏風の魅力を紹介します。
日時：2010年1月30日(土) 13:30〜15:00
会場：平成館大講堂
定員：380名(先着順)　聴講無料(ただし、当日の入館料は必要)
講師：小島道裕氏(国立歴史民族博物館総合研究大学教授)

列品解説

東京国立博物館の研究員による展示解説です。

「善光寺式阿弥陀三尊像について」

12月1日(火) 14:00〜14:30
本館20室
講師：浅見龍介(教育普及室長)

「土偶 —祈りの造形—」(4〜5ページ参照)

12月8日(火) 14:00〜14:30
本館20室
講師：井上洋一(企画課長)
教科書でおなじみの土偶をメインに、縄文人の卓越した精神と造形力に迫ります。

「海磯鏡(かいきょう)　忘れられた文様」

12月15日(火) 14:00〜14:30
法隆寺宝物館資料室
講師：猪熊兼樹(貸与特別観覧室主任研究員)
法隆寺に伝えられた海磯鏡—そこに表された文様の忘れられた意味を追求します。

「古代ガラスの発達 —『吹きガラス』への道—」(9ページ参照)

12月22日(火) 14:00〜14:30
本館14室
講師：後藤健(上席研究員)
ガラス技法史上最大の革命である「吹きガラス」を中心に、古代ガラスの技法についてお話します。

「寅之巻(とらのまき)」(2ページ参照)

2010年1月5日(火) 14:00〜14:30
本館特別2室
講師：今井敦(東洋室長)
新春特別展示「寅之巻」(1月2日〜1月31日)の展示品についてお話します。

「秋篠寺の十一面観音菩薩立像」(11ページ参照)

2010年1月19日(火) 14:00〜14:30
本館11室
講師：岩佐光晴(上席研究員)
造形的な特色とともに彫刻史上の位置づけについてもお話します。

「名物(めいぶつ) 童子切安綱(どうじぎりやすつな)を中心に」(11ページ参照)

2010年1月26日(火) 14:00〜14:30
本館13室
講師：立道惠子(出版企画室長)
平安時代につくられた国宝の太刀の魅力についてお話します。

PART 2

五感を使った美術体験 ワークショップ

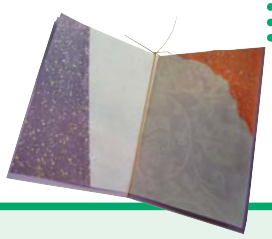
※当落にかかわらず連絡いたします。実施日の3日前までに受講可否の連絡がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、教育普及室に電話でお問い合わせください。

大人向けワークショップ

「唐紙もようのオリジナル料紙と継紙カード作り」

毎年恒例の、装飾料紙に関連したワークショップを行います。平安時代中期から鎌倉時代中期にかけて、宮廷貴族が和歌などを書写するために用いた紙には、金銀や雲母を用いた優美な装飾が施されていました。研究員とともに展示作品を鑑賞したのち、唐紙もようのオリジナル料紙を摺り、クリスマスやお正月にふさわしい継ぎ紙のカードを作ってみてください。

日時：❶ 12月19日(土) 14：30〜16：30
❷ 12月20日(日) 14：30〜16：30
会場：平成館小講堂　**対象**：一般(高校生以上)
定員：各回20名(応募者多数の場合抽選。一度の申込で2名までお申込いただけます)
参加費：無料(ただし当日の入館料は必要です)



申込方法：往復はがき・FAX・電子メールのいずれかで ①参加者全員の氏名(ふりがな) ②郵便番号・住所 ③電話番号(FAX番号) ④参加希望日を記入の上、下記申込先へお送りください。
申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館　教育普及室「料紙カード」係
FAX：03-3822-3010
電子メール：edu@tnm.jp (件名に「○月○日(希望日)料紙カード」とご記入ください)
締切：❶❷ともに、12月4日(金)必着

ファミリーワークショップ

「料紙づくりと散らし書きカレンダーに挑戦！」

展示室で、きれいな紙に筆で書かれたお経や和歌を鑑賞した後、2010年のカレンダーを作ります。作品と同じような模様の料紙を摺り、その上に散らし書き風に新年の目標を書いてください。

PART 3

あなたの鑑賞をサポート ボランティアによる事業

東京芸術大学学生ボランティアによる ギャラリートーク

東京芸術大学大学院美術研究科修士課程芸術学専攻の学生による作品解説です。

「前田青邨『切支丹と仏徒』 —日本画と南蛮趣味—」
12月1日(火)、3日(木)、8日(火)、10日(木)、17日(木)
15：30〜15：50　本館18室(本館1階エントランス集合)
解説：遠藤亮平

「室町に花咲く文学意匠硯箱 — 一合に込められた世界—」
12月15日(火)、18日(金)、23日(水・祝)、2010年1月10日(日)、14日(木)
15：30〜15：50　本館13室(本館1階エントランス集合)
解説：原　唯

「円山応挙『梅図襖』 —襖に樹木を描いて—」
12月22日(火)、25日(金)、2010年1月5日(火)、8日(金)、9日(土)
15：30〜15：50　本館7室(本館1階エントランス集合)
解説：菅野仁美

「紫式部日記絵巻 —霞たなびく料紙装飾—」
2010年1月6日(水)、1月13日(水)、15日(金)、20日(水)、22日(金)
15：30〜15：50　本館3室(本館1階エントランス集合)
解説：藤本敦美

「吉祥 —縁起を担ぐ—」
2010年1月17日(日)、23日(土)、24日(日)、30日(土)、31日(日)
15：30〜15：50　本館特別1室・特別2室・1室・3室(本館1階エントランス集合)
解説：和田千春

「安田靫彦『御夢』 —歴史を描く作家—」
2010年1月19日(火)、21日(木)、26日(火)、28日(木)、29日(金)
15：30〜15：50　本館18室(本館1階エントランス集合)
解説：金智英

「『洛中洛外図屏風(舟木本)』 —かがやくみやこ—」(8ページ参照)
2010年2月7日(日)、13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)
15：30〜15：50　本館7室(本館1階エントランス集合)
解説：浦澤倫太郎

こどもたちのアートスタジオ

「勾玉作り」

平成館考古展示室内にある勾玉を見学した後に、滑石を加工して勾玉を制作します。

日時：2010年2月7日(日) 13：30〜15：30
会場：平成館小講堂
対象：小学校3年生から高校生
※保護者の方の見学も可能です(ただし、平常展入館料が必要です)
定員：10名程度
申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に、日程「勾玉作り 2/7」と郵便番号・住所・参加される方のお名前(ふりがな)・学年・電話番号・保護者がご一緒の場合はその人数、「返信用表面」に、返信先の郵便番号・住所・氏名を明記し下記までお申込ください。
申込先：〒110-8712　東京都台東区上野公園13-9　東京国立博物館学芸企画部博物館教育課ボランティア室
締切：1月25日(月)必着
※締切の後、参加券をお送りします。なお、応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

期間限定ガイドツアー

ボランティアによるガイドツアー「表慶館アジアギャラリーガイド」

東京国立博物館は、中国、インド、東南アジアなど東洋の様々な国や地域で作られた作品を収蔵しています。東洋館休館期間中、それらの作品は、おもに表慶館で展示されています。分野・地域・時代も多岐にわたる東洋の作品の魅力をご紹介する、ボランティアによるガイドツアーを期間限定で実施します。表慶館アジアギャラリーの展示をどうぞお楽しみください。

11月12日(木)および11月15日(日)〜2010年1月31日(日)の金曜日、日曜日
(ただし、12月27日(日)、1月1日(金)、1月3日(日)を除く)
13：30〜14：15(約45分)
集合場所：
表慶館アジアギャラリー
エントランス

表慶館展示風景

INFORMATION

イベント開催のお知らせ

◆新春東博寄席2010

～お正月恒例！ 博物館 de 初笑い～
新春にふさわしい「寿獅子」をお楽しみください

日時：2010年1月11日（月・祝） 開場13：00 開演13：30
会場：平成館大講堂
出演：金原亭馬生、古今亭菊春、金原亭馬治、金原亭馬吉
料金：2,000円 全席自由 ※当日は、公演のチケットで、平常展をご観覧いただけます。
主催：東京国立博物館

◆亀渕友香 & VOJA ゴスペルコンサート

NHK「紅白歌合戦」にも出場した、BIG MAMA YUKA こと
亀渕友香のパワフルでソウルフルなステージが実現します。
圧倒的な迫力をお見逃しなく！

日時：2010年1月17日（日） 開場14：30 開演15：00
会場：平成館ラウンジ
出演：亀渕友香、VOJA（コーラス）
曲目：神様がくれた愛のみち／きずな／
ILLUMINANT／Oh Happy Day／You'll Never Walk Alone ほか
料金：一般 4,500円（全席自由）
友の会・キャンパスメンバーズ割引 3,500円
※当日は、コンサートチケットで、平常展をご観覧いただけます。
主催：東京国立博物館、サロン・ド・ソネット

チケットのお求め方法

- **当館正門観覧券売場でのチケット販売**
  開館日の9：30～閉館30分前まで（12月28日〈月〉～2010年1月1日〈金・祝〉は休館）
- **電話予約販売**
  申 込 先：東京国立博物館総務課イベント担当 TEL 03-3821-9270
  受付時間：月曜日～金曜日の9：30～17：00（祝休日、年末年始は除く）
  引 換：公演当日、9：30～当館正門観覧券売場にて現金引換にてお渡しします。
  お問い合わせ：東京国立博物館 総務課イベント担当 TEL03-3821-9270
  月曜日～金曜日の9：30～17：00（祝休日、年末年始は除く）
  ※各イベント詳細は、当館ホームページでご確認ください。
  ※お車でのご来館はご遠慮ください。

◆東大寺講演会

日時：2010年1月27日（水） 開場13：00 開演13：30
場所：平成館大講堂
講師：上野道善 東大寺別当（華厳宗管長）
演題：東大寺二月堂お水取り（仮題）

※講演の前に、東京国立博物館上席研究員岩佐光晴による光明皇后御忌1250年記念特別展「東大寺」（仮称）について説明があります。
主催：東京国立博物館、東大寺
料金：無料 ※ただし当日の入館料は必要です。
定員：300名（事前申込制・応募者多数の場合は抽選）
申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記して下記までお申込ください。
申込先：〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館総務課「東大寺講演会」係
※1枚の往復はがきで2名まで応募可。2名の場合はそれぞれの氏名を必ず明記のこと。
※記入不備があった場合は落選とさせていただきます。
申込締切：1月12日（火）必着

◆ボランティア募集のお知らせ

平成22年度 生涯学習ボランティア募集

東京国立博物館では来館者の生涯学習の機会の増大とサービスの向上を図るためにボランティアによるさまざまな活動を行っています。館内施設の道案内、教育スペース「みどりのライオン」や講演会などの運営補助、資料整理、ガイドツアーなど、来館されるお客様をお手伝いする活動をしてみませんか。
活動期間は2010年4月から3年間。
応募受付期間は12月1日（火）～2010年1月8日（金）。詳細は、当館ホームページ（http://www.tnm.jp/）あるいは本館インフォメーションで。
＊お問い合わせ ボランティア室 TEL 03-3822-1111（代表）

◆本館2階「日本美術の流れ」一時閉室のお知らせ

11月30日（月）～12月14日（月）は本館2階は、展示ケースメンテナンスのため全室閉室します。1階ジャンル別展示は通常通り行っております。

◆年末年始の休館日

12月28日（月）～2010年1月1日（金・祝）は休館です。新年は1月2日（土）から開館。1月4日（月）は休館となります。

◆没後400年 特別展「長谷川等伯」展 招待券プレゼント

本誌6ページで紹介した没後400年 特別展「長谷川等伯」（2010年2月23日〈火〉～3月22日〈月・休〉）の招待券を抽選で10組20名様にプレゼントします。締切：2010年1月18日（月）必着。

※プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名（ふりがな）、性別、年齢、職業、ならびにこの号でいちばん面白かった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。
〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館
広報室「ニュース12・1月号」プレゼント係

◆東京国立博物館賛助会員 募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・平常展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年（入会月の翌年同月末日まで）有効。賛助会員には、特別会員と維持会員との2種類があります。

年会費
特別会員 100万円以上
維持会員 法人 20万円
個人 5万円

主な特典
●特別展の内覧会にご招待
●東京国立博物館ニュースの送付

＊賛助会員のお申し込みは随時受け付けています。
＊お問い合わせ
東京国立博物館総務部 賛助会担当
TEL 03-3822-1111（代）

東京国立博物館賛助会員 2009年10月20日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社コア 様
株式会社精養軒 様
大日本印刷株式会社 様
株式会社毎日新聞社 様
株式会社大林組東京本社 様
株式会社ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社ミロク情報サービス 様
読売新聞社 様
三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様
東芝国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様

維持会員 団体

東京電力株式会社 様
朝日新聞社 様
株式会社東京放送 様
株式会社三冷社 様
株式会社東京美術 様
株式会社鶴屋吉信 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 スタイルカフェ・ドット・ネット 様
株式会社 古美術藪本 様
日本ハーデス株式会社 様
謙慎書道会 様
社団法人 全国学校栄養士協議会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様
株式会社 東京書芸館 様
シチズンホールディングス株式会社 様
インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝院学園 様
有限会社 システム設計 様
株式会社 インターネットイニシアティブ 様
公和図書 株式会社 様
（株）小西美術工藝社 様

維持会員

木村 則子 様
早乙女 節子 様
宇津野 和俊 様
伊藤 信彦 様
井上 萬里子 様
藪内 匡人 様
服部 禮次郎 様
岩沢 重美 様
高田 朝子 様
齋藤 京子 様
齋藤 邦裕 様
和田 喜美子 様
佐々木 芳絵 様
藤原 紀男 様
関谷 徳衛 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様
上久保 のり子 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛 様
観世 あすか 様
星埜 由尚 様
久保 順子 様
渡辺 章 様
稲垣 哲行 様
帖佐 誠 様
飯岡 雄一 様
峯村 協成 様
牧 美也子 様
髙瀬 正樹 様
坂井 俊彦 様
寺浦 信之 様
高木 美華子 様
古屋 光夫 様
根田 穂美子 様
松本 澄子 様
鷲塚 泰光 様
是常 博 様
上野 孝一 様
北山 喜立 様
山田 泰子 様
田村 久雄 様
髙橋 徹 様
栄田 陸子 様
絹村 安代 様
髙橋 良守 様
岡田 博子 様
臼井 生三 様
津久井 秀郎 様
川澄 祐勝 様
神通 豊 様
永久 幸範 様
五十嵐 良和 様
石川 公子 様
池田 慶子 様
青山 千代 様
藤崎 英喜 様
永田 実香 様
西岡 康宏 様
友景 紀子 様
東野 治之 様
辻 泰二 様
高木 聖鶴 様
竹下 佳宏 様
松原 聡 様
野澤 智子 様
有賀 浩治 様
吉田 幸弘 様
野崎 弘 様
坂田 浩一 様
池谷 正夫 様
池谷 徳雄 様
脇 素一郎 様
髙谷 光宏 様
青山 道夫 様
杉原 健 様
木谷 麒巳郎 様
髙梨 兵左衛門 様
渡久地 ツル子 様
汐崎 浩正 様
関 哲夫 様
堤 勝代 様
山下 由紀子 様
平井 千恵子 様
秦 芳彦 様
小西 暉也 様
澁谷 洋志 様
山下 照夫 様
仙石 哲朗 様
中井 伸行 様
髙見 康雄 様
田中 望 様
三井 速雄 様
坂詰 貴司 様
吉田 靖 様
松本 雅彦 様
明珍 素也 様
伊藤 喜雄 様
井上 雄吉 様
狩野 祐光 様
大森 雅子 様
鈴木 宗鶴 様
折越 卓哉 様
渡辺 恭昌 様
平野 京子 様
安田 和正 様
細川 要子 様
鈴木 幸一 様
武藤 剛志 様
秋元 文子 様
土師 詔三 様
上塚 建次 様
櫛田 良豊 様
鏡 賢志 様
野口 圭也 様
村木 久晃 様
高久 真佐子 様
小川 春夫 様
平山 利恵 様
陶山 哲夫 様
井出 雪絵 様
佐藤 禎一 様
岡本 博司 様
岡本 恭子 様
谷川 紀彦 様
山口 隆司 様
原 一之 様
会田 健一 様
桐畑 政義 様
相良 多恵子 様
熊谷 勝昌 様
（ほか43名2社、順不同）

東京国立博物館友の会＆パスポート

友の会　年会費　1万円　発行日から1年間有効

特典　東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート　一般 4,000円　学生 2,500円
発行日から1年間有効

特典　東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

＊建物の改修等のため、京都国立博物館平常展示館、東京国立博物館東洋館など一部展示館を閉館しています。

◆お申し込みは当館窓口、郵便振替または当館ホームページで

〈郵便振替でのお申し込み〉

＊振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください
＊振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートが届くまで保管しておいてください
＊振替手数料はお客様の負担となります
＊ご入金確認日より会員証、パスポートがお手元に届くまで2週間程かかります

友の会
加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号00160-6-406616

パスポート
加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート
口座番号00140-1-668060
＊振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

◆お問い合わせ
TEL 03-3822-1111(代)　友の会・パスポート担当
FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

◆お申し込みは郵便振替で
加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース
口座番号 00100-2-388101
＊振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください
＊振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください
＊振替手数料はお客様のご負担となります
＊次号より送付ご希望の場合、締切は2010年1月10日です

東京国立博物館メールマガジンのご案内

特別展・各種催し・展示替・ウェブ更新などの情報をいち早くお届けします ＊ご登録はhttp://www.tnm.jp/から

東京国立博物館利用案内

開館時間　9:30～17:00、2010年2月26日(金)～3月19日(金)の特別展開催期間中の金曜日は20:00まで、2010年2月27日(土)～3月22日(月・休)の特別展開催期間中の土・日・祝・休日は18:00まで(入館は閉館の30分前まで)。

休館日　毎週月曜日(祝日、休日の場合は翌日)、年末年始(12月28日～1月1日)。11月24日(火)は開館

平常展観覧料金
一般600(500)円、大学生400(300)円
＊(　)内は20名以上の団体料金
＊障害者とその介護者1名は無料です。入館の際に障害者手帳などをご提示ください
＊満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方の平常展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

＊お申し込みに際してご提供いただいた個人情報は、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします

TOPICS

◆アジア国立博物館協会定期大会・アジア博物館研究集会を開催しました

10月30日(金)～31日(土)、東京国立博物館と九州国立博物館において、アジア国立博物館協会(通称ANMA)定期大会およびアジア博物館研究集会を開催しました。2007年にANMAが設立されてから2度目となる今回の定期大会は、文化庁と共催のアジア博物館研究集会とともに行われました。「アジアの伝統文化と世界への発信」をテーマに、博物館が自国の伝統文化をどのように守り伝え、世界へと発信しているかについて発表、パネルディスカッションを通じて、世界に向けてアジア固有の文化をどのように発信、普及していくか、など活発な意見が交わされました。中国、韓国をはじめ、ネパール、カンボジア等アジアの各国から理事館となっている博物館の代表が出席、またアジアだけでなく、オーストラリアやロシア、トルコからも博物館職員および関係者が出席し、両会場でのべ三百名を超える参加がありました。参加された方には、東京国立博物館および九州国立博物館の展示などを見学し、日本の文化財を鑑賞、わが国の伝統文化に触れていただきました。(鬼頭智美)

◆TNM&TOPPANミュージアムシアター上映作品のお知らせ

VR作品「法隆寺献納宝物　国宝　金銅灌頂幡(こんどうかんじょうばん)　飛鳥の天人」公開

11月3日(火・祝)～12月27日(日)の金・土・日・祝日　※ただし12月23日(水・祝)は休演

法隆寺宝物館で展示されている国宝「灌頂幡」の当時の光り輝く姿を再現しました。日本金工史上最高の傑作を細部にわたって様々な角度から解説します。

法隆寺で当時灌頂幡が使用されていた様子を再現

VR作品「洛中洛外図屏風　舟木本」公開

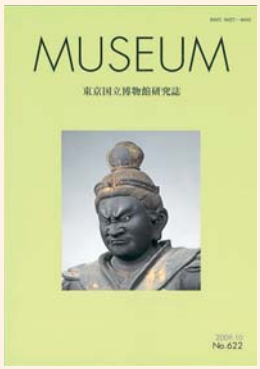
2010年1月2日(土)～3月28日(日)の金・土・日・祝日・振替休日

東京国立博物館所蔵の洛中洛外図(舟木本)の世界にバーチャルトリップしてみませんか？

京の市中のざわめき、ひとびとの営みを体感できる新プログラムです。

両プログラムともに10時、11時、12時、14時、15時、16時上演　各回30名
※当日予約制　本館1階エントランスにて受付

◆MUSEUM622号(10月15日発行)の掲載論文



①「東京国立博物館所蔵笠形木製品の研究」鈴木裕明(奈良県立橿原考古学研究所)・有馬伸(宮内庁書陵部)・日高慎(当館保存修復室)・奥山誠義(奈良県立橿原考古学研究所)・福田さよ子(大阪市立大学)・岡林孝作(奈良県立橿原考古学研究所)

②「《調査報告》相国寺とその塔頭の仏像」浅見龍介(当館教育普及室)

◆国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉
特別展覧会「THE ハプスブルク」2010年1月6日(水)～3月14日(日)

〈奈良国立博物館〉
特別陳列「お祭と春日信仰の美術」12月8日(火)～2010年1月17日(日)

〈九州国立博物館〉
京都妙心寺―禅の至宝と九州・琉球　2010年1月1日(金・祝)～2月28日(日)

表紙：**虎図**(部分)　円山応挙筆　江戸時代・18世紀／◎**月次風俗図屏風**(部分)　室町時代・16世紀　(本誌2・11ページ参照)

東京国立博物館ニュース　第698号　平成21年12月1日発行（隔月1回偶数月発行）　編集／東京国立博物館 広報室　©東京国立博物館
発行／東京国立博物館　〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9　TEL 03-3822-1111（代表）　＊ホームページ〈URL〉http://www.tnm.jp/　独立行政法人国立文化財機構ホームページ〈URL〉http://www.nich.go.jp　制作／美術出版社

東京国立博物館2009年12月・2010年1月の展示・催し物

2009年12月

1 TUE 列品解説「善光寺式阿弥陀三尊像について」14:00 本館20室
15:00 「前田青邨『切支丹と仏徒』」15:30 本館18室

2 WED

3 THU 「前田青邨『切支丹と仏徒』」15:30 本館18室

4 FRI 13:30 15:00

5 SAT 11:00 13:30 14:30 15:00

6 SUN ♪藤原真理チェロコンサート15:00 平成館ラウンジ＊1
13:30 14:30

7 MON 休館日

8 TUE 列品解説「土偶 －祈りの造形－」14:00 本館20室
「前田青邨『切支丹と仏徒』」15:30 本館18室

9 WED 14:30

10 THU 14:00 14:30 「前田青邨『切支丹と仏徒』」15:30 本館18室

11 FRI 13:30 14:30

12 SAT ♪ジェラール・プーレ ヴァイオリン コンサート14:00 平成館ラウンジ＊2
14:30

13 SUN 13:30

14 MON 休館日　日本美術の流れ 閉室

15 TUE 列品解説「海磯鏡 忘れられた文様」14:00 法隆寺宝物館資料室 15:00
「室町に花咲く文学意匠硯箱」15:30 本館13室　「国宝 土偶展」

16 WED

17 THU 14:00 14:30 「前田青邨『切支丹と仏徒』」15:30 本館18室
ギャラリートーク「国宝 土偶」15:30 本館20室＊3

18 FRI 13:30 15:00 「室町に花咲く文学意匠硯箱」15:30 本館13室

19 SAT 月例講演会「お姫様のお嫁入り－華やかな大名婚礼調度－」13:30 平成館大講堂＊4 ファミリーワークショップ「料紙づくりと散らし書きカレンダーに挑戦！」10:00 平成館小講堂＊5 ワークショップ「唐紙もようのオリジナル料紙と継紙カード作り」14:30 平成館小講堂＊6 11:00＊7 13:30 14:00 15:00

20 SUN ファミリーワークショップ「料紙づくりと散らし書きカレンダーに挑戦！」10:00 平成館小講堂＊5 ワークショップ「唐紙もようのオリジナル料紙と継紙カード作り」14:30 平成館小講堂＊6 12:30, 14:00 13:30 14:30

21 MON 休館日

22 TUE 列品解説「古代ガラスの発達 －『吹きガラス』への道－」14:00 本館14室
「円山応挙『梅図襖』」15:30 本館7室

23 WED 14:00 14:30 「室町に花咲く文学意匠硯箱」15:30 本館13室

24 THU 14:00 14:30

25 FRI 13:30 14:30 「円山応挙『梅図襖』」15:30 本館7室

26 SAT

27 SUN

28 MON 休館日

29 TUE 休館日

30 WED 休館日

31 THU 休館日

2010年1月

1 FRI 休館日

2 SAT 獅子舞10:30, 13:00 本館前　和太鼓11:00, 13:30 正門内池前
江戸の太神楽12:00, 14:30 正門内池前
東博トラめぐり&掛軸ふうカレンダー＊8　博物館に初もうで

3 SUN 獅子舞10:30, 13:00 本館前　和太鼓11:00, 13:30 正門内池前
クラリネット・コンサート12:00, 14:30 平成館ラウンジ
東博トラめぐり&掛軸ふうカレンダー＊8

4 MON 休館日

5 TUE 列品解説「寅之巻」14:00 本館特別2室
「円山応挙『梅図襖』」15:30 本館7室

6 WED 14:00 「紫式部日記絵巻」15:30 本館7室

7 THU 14:00

8 FRI 13:30 14:30 15:00 「円山応挙『梅図襖』」15:30 本館7室

9 SAT 14:00 14:30 15:00 「円山応挙『梅図襖』」15:30 本館7室

10 SUN 13:30 14:00 14:30
「室町に花咲く文学意匠硯箱」15:30 本館13室
ファミリーワークショップ「どぐうスケッチ」16:30 本館特別5室・本館20室＊3

11 MON 新春東博寄席 13:30 平成館大講堂＊9

12 TUE 休館日

13 WED 14:30 14:30 「紫式部日記絵巻」15:30 本館3室

14 THU 14:00 14:00 14:30
「室町に花咲く文学意匠硯箱」15:30 本館13室

15 FRI 13:30 「紫式部日記絵巻」15:30 本館3室

16 SAT 11:00 13:30 14:00

17 SUN ♪亀渕友香 & VOJA ゴスペルコンサート15:00 平成館ラウンジ＊10
12:30, 14:00 13:30 14:30 「吉祥」15:30 本館特別1室・2室他

18 MON 休館日

19 TUE 列品解説「秋篠寺の十一面観音菩薩立像」14:00 本館11室
15:00 「安田靫彦『御夢』」15:30 本館18室

20 WED 14:00 「紫式部日記絵巻」15:30 本館3室

21 THU 14:00 14:30 「安田靫彦『御夢』」15:30 本館18室
ギャラリートーク「土偶と土面」15:30 本館20室＊3

22 FRI 13:30 14:30 15:00 「紫式部日記絵巻」15:30 本館3室

23 SAT 14:00 14:30 15:00
「吉祥」15:30 本館特別1室・2室他

24 SUN 13:30 14:00 14:00 「吉祥」15:30 本館特別1室・2室他

25 MON 休館日

26 TUE 列品解説「名物 童子切安綱を中心に」14:00 本館13室
15:00 「安田靫彦『御夢』」15:30 本館18室

27 WED 講演会「東大寺二月堂お水取り(仮題)」13:30 平成館大講堂＊11
14:30

28 THU 14:00 14:30 「安田靫彦『御夢』」15:30 本館18室

29 FRI 13:30 「安田靫彦『御夢』」15:30 本館18室

30 SAT 月例講演会「洛中洛外図屏風の系譜」13:30 平成館大講堂＊12
11:00＊7 14:00 「吉祥」15:30 本館特別1室・2室他

31 SUN 13:30 14:00 「吉祥」15:30 本館特別1室・2室他　博物館に初もうで

2/21まで

=ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所：本館1階エントランス
=ボランティアによる浮世絵展示ガイド、集合場所：本館1階エントランス
=ボランティアによる陶磁エリアガイド、集合場所：本館1階エントランス
=ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所：本館1階エントランス
=ボランティアによる樹木ツアー、集合場所：本館1階エントランス
=ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所：平成館考古展示室入口
=ボランティアによる表慶館アジアギャラリーガイド、集合場所：表慶館1階エントランス 詳細は本誌13ページをご覧ください
=ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所：法隆寺宝物館1階エントランス
=ボランティアによる茶会、集合場所：本館1階エントランス（参加費500円、先着30名、開始1時間前に集合場所で整理券配布）
=ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所：本館1階エントランス（先着20名、開始30分前に集合場所で整理券配布）

=ボランティアによる英語ガイド（本館ハイライト）、集合場所：本館1階エントランス
=ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合場所：本館1階エントランス
=芸大ボランティアによるギャラリートーク、詳細は本誌13ページをご覧ください
=黒田記念館開館日、木曜・土曜13:00～16:00
=ミュージアムシアター「国宝 灌頂幡 飛鳥の天人」（11/3～12/27、12/23を除く）「洛中洛外図屏風」（1/2～3/28）上映　10:00 11:00 12:00 14:00 15:00 16:00 各回30名、集合場所：本館1階エントランス（詳細は本誌15ページをご覧ください）

＊1：有料イベントです。詳細は前号14ページをご覧ください ＊2：有料イベントです。詳細は前号14ページをご覧ください ＊3：特別展「国宝 土偶展」関連事業、ファミリーワークショップは事前申込制、詳細は本誌4～5ページをご覧ください ＊4：詳細は本誌12ページをご覧ください ＊5：事前申込制、詳細は本誌13ページをご覧ください ＊6：事前申込制、詳細は本誌13ページをご覧ください ＊7：12/19、1/30は手話通訳付きです ＊8：詳細は本誌3ページをご覧ください ＊9：有料イベントです。詳細は本誌14ページをご覧ください ＊10：有料イベントです。詳細は本誌14ページをご覧ください ＊11：詳細は本誌14ページをご覧ください ＊12：詳細は本誌12ページをご覧ください
＊上記の予定は予告なく変更になることがあります。当日の予定はインフォメーションカウンターでご確認ください。
＊屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。